

2026年 真宗高田派人間解放の集い公開講座

『水平社宣言とジェンダー』

講師 いわもと 岩本 ちえ 智依 師 (浄土真宗本願寺派 常蓮寺住職)

(講師紹介) 2005年 関西大学大学院法学研究科博士課程前期終了
2010年～現在 中央仏教学院講師
奈良教区男女共同参画委員会委員
2024年～現在 (一財)同和教育振興会常務理事
本願寺派ジェンダー平等推進委員会委員

【主著】 『念仏者と性』 -和讃から考えるセクシャル・マイノリティと女人往生-

日時 2026年3月3日(火)

13時30分～16時 (受付13時)

会場 真宗高田派専修寺 高田会館ホール

参加費 無料 (どなたでもご参加いただけます)

親鸞聖人は、僧侶の身でありながら結婚し家族と共に生活をする中で、民衆の苦悩に寄り添い、人間解放を願った聞法生活を送られました。

私たちは、聖人が課題とされた第35願の女人成仏(女性の解放)を課題としているのでしょうか。社会生活、寺院生活の中では、区別・役割・分担が男女の有り様を固定化させ、固執しています。固定化しない、固執しない自由な選択を聖人は「無戒」といわれ、現代ではジェンダーフリーと捉えるのでしょうか。

改めて、真宗教団にとって差別を克服するとは如何なることなのか。また、女性差別を乗り越えていく思想とは如何なるものなのか。第35願の女人成仏が、なぜ変成男子として説かれなければならなかったのか、皆さんと共に考えていきたいと願っております。

問合先 真宗高田派 宗務院 (059-232-4171)

主催 真宗高田派同和問題に取り組む会